

都立東村山西高等学校（全日制課程）

【校長】 堀内 明
【生徒数】 631名
【学級数】 18学級



【実態・目標】

- 望ましい生活習慣を確立することができていない生徒が一定数いる。
⇒望ましい生活習慣とは何かを理解できるようにする。
- 月経に関する悩み、妊娠のおそれ、男女交際の悩み等、保健室には様々な相談がある。
⇒望ましい人間関係の構築の仕方について理解できるようにする。

【取組】

- 保健における授業の取組
1学年で実施した産婦人科医を招へいた公開授業を参考に、2学年の「生涯を通じる健康」において、生徒の学びを深めるような授業の工夫を行う。
- 産婦人科医を招へいた授業の実施
・対象生徒：第1学年
・講師：産婦人科医
・学習内容
「今日の自分と未来の自分へ」～ 性の健康の話～
⇒性に関する理解を深め、現在、未来の自分を想像できるようにする。

目標

・自らの健康への意識を高め、生涯健康を保持増進できる資質能力の育成

【課題・改善】

- 【課題】
○学んだ知識を生かし、自らの健康課題を解決する力を十分に身に付けることができなかった生徒がいる。
- ⇒【今後の取組】
○教科横断的に学校全体で健康教育の充実を図っていく。
- 専門家を継続的に活用する。
- 教員が外部研修会に積極的に参加し、得た知識を校内研修等で周知し、指導力向上を図る。

【成果】

- 生徒の意識に関する成果
性について理解を深め、今後の生活の在り方について考えるきっかけをもつことができた。また、デートDVについて考え、人間関係の構築の難しさや大切さについて学ぶことができた。
- 生徒の態度に関する成果
産婦人科医を招へいた授業後のアンケートでは、90%以上の生徒が、「性を含む健康に関する正しい知識を身に付け、適切な意思決定や行動選択を行うことができるようになった。」と回答した。
- その他（教員の授業改善など）
一般需用費で購入したAEDトレーナーセットを活用し、教員や生徒に適切な救命救急について講習・指導することができた。

【取組（詳細）】

- 保健における性教育
・2学年で取扱う内容について
「生涯を通じる健康」
1 ライフステージと健康
2 思春期と健康
3 性意識と性行動の選択
4 妊娠・出産と健康
5 避妊法と人工妊娠中絶
6 結婚生活と健康
7 中高年期と健康



※性に関するグループ学習や発表をとおして生徒の理解を

○教員の指導力向上のために令和7年度夏季研究協議会（東京都高等学校性教育研究会）に参加



夏季研究協議会の様子

令和7年度夏季研究協議会研修会の内容
<研究協議会内容>

- 「包括的性教育」を生徒と考える
- 人間関係・性的同意の教育教材の探究
<グループワーク>
- テーマ：「友達にも恋人にも大切なこと暴力を使わない対等な関係づくりとは？～デートDVの予防授業」
- 「教員も生徒と共に考える」ことの重要性を改めて考え直した。今後は、「対話」を大切にしながら授業実践・改善を行う。

○産婦人科医を招へいた公開授業の実施

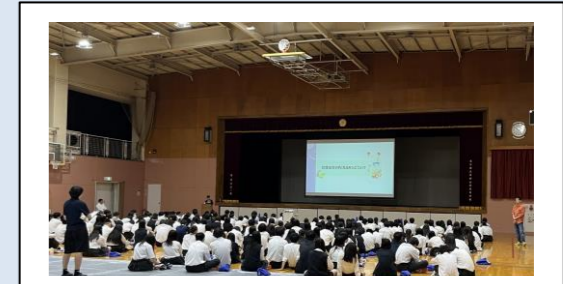
- <授業内容>
- 1 性の多様性
- 2 男性のカラダ、女性のカラダ
- 3 月経について
- 4 女性のがんについて
- 5 性感染症について
- 6 避妊について
- 7 性被害について
- 8 デートDVについて

<生徒の感想>

・性という言葉は、普段はあまり口に出すことが少ないし、テレビやインターネットでは間違った情報も多くあるなか、命がどうやって生まれるのか、体の変化や仕組み、心の問題、そして人との関わり方など、性にはとても広い意味があることを学んだ。

<保護者の感想>

・性といっても、ただ避妊やSEXだけの話ではなく、個人のマイノリティの尊重、男女だけではないということ、多様性のこと、幅広く興味深く聞かせてもらった。最後のいのちの重さ、尊さ、いのちを大事にしてねというメッセージは胸が熱くなった。近年増加している性被害にも詳しく触れていて、被害者は悪くないという、報道やネットのあり方まで組み込まれていて、参加して良かった。専門家による講義は根拠があり、わかりやすく、これからも必要になってくると思う。



産婦人科医を招へいた公開授業の様子